

2024 年度版 福岡県小児救急医療ガイドブック

必携！子ども救急

子どもの急病・傷害（事故）
対応マニュアル



子どもの急な病気やけがは、保護者にとって、とても不安なものです
子どもの症状の伝え方、病院受診や相談の方法をわかりやすく解説

家庭看護力 が身に付く **ガイドブック**

目次

1	はじめに	
(1)	何でも相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう	1
(2)	電話相談（#8000・#7119）の利用案内	2
(3)	休日夜間急患センター 及び 休日・夜間も 小児科医が診療を行っている医療機関	3
2	本冊子の活用方法について	5
	家庭看護力を身に付けよう	7
3	症状の伝え方	8
4	主な症状別の対処法	
	熱が高い・身体が冷たい	15
	鼻水・鼻づまり	17
	せき・ゼイゼイ・けんけん	19
	けいれん・意識がおかしい	21
	嘔吐	23
	下痢	25
	ほっしん・かゆみ	27
	元気がない・機嫌が悪い	29
	頭が痛い	31
	耳が痛い	33
	のどが痛い	35
	胸が痛い	37
	お腹が痛い	39
	手足を動かさない	41
	頭を打った	43
	胸やお腹を打った	45
	目・鼻・耳のけが	47
	口の中・歯のけが	49
	手足の腫れ・変形	51
	陰部のけが	53
	やけど	55
5	救命救急処置（蘇生ガイドライン準拠）	
(1)	心肺蘇生法	59
(2)	AEDの使い方	60
(3)	ものがのどに詰まった時の応急処置	61

(1) なんでも相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう

福岡県医師会常任理事 いなみつこどもクリニック 稲光 毅

皆さんには、お子さんの健康について気軽に相談できる人がいるでしょうか。特に1人目のお子さんの場合、授乳、睡眠、うんちの具合など日常的なことから、生後2か月から始まる予防接種など初めて経験することはばかりですが、身近に相談できる人がいない場合、お母さんが一人で抱え込むことになってしまいがちです。最近、スマートフォンなどから情報を得ている方が増えています。しかし、インターネット上の情報は正しいものもありますがいい加減なものも少なくなく、また検索を進めるにつれて自分の思い込みに偏ってしまう傾向があり、適切な情報を得るのは簡単ではありません。そういう意味から、必要な時に適切な情報を得るために、早いうちにかかりつけ医をもつことが大切です。

今、生後2か月から生後5か月まで月1回の予防接種を受けるのが予防接種の標準的なスケジュールになっており、健康な赤ちゃんも月1回は小児科クリニックを受診します。予防接種は数が多く、接種間隔もワクチンごとに決まりがあり非常に複雑で、漏れなく確実に接種を進めるためにはかかりつけ医を決めておくことが勧められます。また、ワクチンを受けるだけでなく体重を計測してもらえば、母子手帳の成長曲線に書き込むことで順調に成長しているか確認することもできます。4か月、10か月、1歳半、3歳などの乳幼児健診は、かかりつけ医で受けるか保健センターなどで集団健診として受けるか地域によって受診方法が異なります。集団健診で発育の問題や病気の疑いなどを指摘され心配になった場合も、かかりつけ医があれば気軽に相談することができます。

急な発熱、嘔吐や下痢など病気の際にも小児科クリニックを受診します。診察の上、薬を処方されたり、点滴を受けたり、入院が必要であれば病院に紹介してもらうこともあります。医師の立場からすれば、かかりつけとして長く診ているお子さんは、それまでかかった病気やご家族の状況を把握した上での対応がしやすいという利点があります。

子どものかかりつけ医が大切なのは、発熱など病気になったときに診てもらうだけでなく、成長・発達をチェックし予防接種を進めるなど、順調な育ちを見守る役割があるからです。北九州市、福岡市では、出産前から出産後早めになんでも相談できる小児科医を知ってもらい安心して子育てをしてもらうことを目的として、出産する産婦人科で小児科を紹介する制度（ペリネイタルビジット）を行っています。このような制度がある地域にお住まいの方は制度を利用し、そうでない地域の方も予防接種などの機会を通してかかりつけ医を持ち、子育ての相談者として活用してください。

(2) 電話相談（#8000／#7119）の利用案内

福岡県小児救急医療電話相談（#8000）

平日夜間・休日に、子どもの急な病気、ケガに関する相談を経験豊かな看護師、または必要に応じて小児科医がアドバイスします。

電話番号：# を押して 8 0 0 0（短縮ダイヤル）

または 092-731-4119
（IP電話などの場合）

受付時間：（平日）19時～翌朝7時
（土曜）12時～翌朝7時
（日祝）7時～翌朝7時



福岡県救急電話相談・医療機関案内（#7119）

(1) 救急電話相談

急な病気やケガにより救急車を呼ぶか迷ったときや医療機関への受診を迷ったとき、救急医療機関での経験を有する看護師が、医療機関受診の緊急度などについてアドバイスを行います。

(2) 医療機関案内

現在診療中の最寄りの医療機関を案内します。

電話番号：# を押して 7 1 1 9（短縮ダイヤル）

または 092-471-0099
（IP電話などの場合）

受付時間：24時間365日



ふくおか医療情報ネット（web）

現在診療中、診療科目、最寄り駅など、様々な条件から、県内の医療機関を検索できます。

⇒ <https://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>



(3) 休日夜間急患センター及び

休日・夜間も小児科医が診療を行っている医療機関

I 北九州地域

休日夜間急患センター

施設名	住所	電話番号	平日		土曜		日曜・祝日	
			夜間		夜間		昼間	夜間
			準夜	深夜	準夜	深夜	準夜	深夜
★小児救急・小児総合医療センター (北九州市立八幡病院)	北九州市八幡東区尾倉2-6-2	093-662-6565	●	●	●	●	●	●
★北九州市立夜間・休日急患センター	北九州市小倉北区馬借1-7-1(総合保健福祉センター 1F)	093-522-9999	●		●		●	●
北九州市立門司休日急患診療所	北九州市門司区羽山1-1-24	093-381-9699					●	
北九州市立若松休日急患診療所	北九州市若松区藤ノ木2-1-29	093-771-9989					●	
★行橋京都休日・夜間急患センター	行橋市東大橋2-9-1	0930-26-1399	●		●	●	●	●
豊築休日急患センター	豊前市大字八屋1776-4	0979-82-8820					●	●
遠賀中間休日急病センター	遠賀郡遠賀町大字尾崎1725-2	093-282-9919					●	

医療機関

医療機関名	住所	電話番号	備考
★北九州総合病院	北九州市小倉北区東城野町1-1	093-921-0560	(受付時間) 月～金 17:00～翌7:00 土 13:00～翌7:00 日・祝日 9:00～翌7:00 ※重症例等は24時間対応
★国立病院機構小倉医療センター	北九州市小倉南区春ヶ丘10-1	093-921-8881	24時間対応(要電話連絡)
★地域医療機能推進機構九州病院	北九州市八幡西区岸の浦1-8-1	093-641-5111	24時間対応(要電話連絡)

※ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の体制については、テレフォンセンター(093-522-9999)にご確認ください。

II 福岡地域

休日夜間急患センター

施設名	住所	電話番号	平日		土曜		日曜・祝日	
			夜間		夜間		昼間	夜間
			準夜	深夜	準夜	深夜	準夜	深夜
★福岡市立急患診療センター	福岡市早良区百道浜1-6-9	092-847-1099	●	●	●	●	●	●
福岡市立東急患診療所	福岡市東区箱崎2-54-27	092-651-3835					●	
福岡市立南急患診療所	福岡市南区塩原3-25-3	092-541-3299					●	
★宗像地区急患センター	宗像市田熊5-5-5	0940-36-1199	●	●	●	●	●	●
★糸島市休日・夜間急患センター	糸島市浦志532-1	092-329-1190	●	●	●	●	●	●
粕屋北部休日診療所	古賀市庄205	092-942-1511					▲	
粕屋中南部休日診療所	糟屋郡久山町大字久原3168-1	092-652-3119					●	
★朝倉地域休日夜間急患センター	朝倉市来春422-1	0946-23-0077	●		●		●	●

医療機関

医療機関名	住 所	電話番号	備 考
福岡赤十字病院	福岡市南区大楠3-1-1	0570-03-1211	(受付時間) 土 9:00~17:00 ※祝日、年末年始を除く
福岡大学筑紫病院	筑紫野市俗明院1-1-1	092-921-1011	(受付時間) 月・水・金 17:00~21:00
福岡徳洲会病院	春日市須玖北4-5	092-573-6622	(受付時間) 火・木・土 17:00~21:00 日・祝日 9:00~21:00

※福岡市では、夜間・休日の急病患者に対して、福岡市立急患診療センターで診療を行っています。
また、福岡市立こども病院、福岡大学病院、九州大学病院等は、福岡市立急患診療センター等で入院が必要と診断された場合や救急車での搬送に対応しています。

※宗像地区、粕屋北部地区では、平日の昼間はおかりつけの小児科、夜間と休日は宗像地区急患センターを受診してください。

III 筑後地域

医療機関

医療機関名	住 所	電話番号	備 考
★聖マリア病院	久留米市津福本町422	0942-35-3322	24時間対応 ※19:00~23:00は、久留米広域小児救急センター（地域医療支援棟1階）にて対応
公立八女総合病院	八女市高塚540-2	0943-23-4131	(受付時間) 月・水・金 19:00~21:30 第1・3・5日曜 9:00~14:30
筑後市立病院	筑後市大字和泉917-1	0942-53-7511	(受付時間) 火・木 19:00~21:30 第2・4日曜 9:00~14:30
★高木病院	大川市大字酒見141-11	0944-87-0001	(受付時間) 月~土 16:30~21:30 日・祝日 9:00~12:30 14:00~16:30

※久留米大学病院は、救急車での搬送に対応しています。

※大牟田・高田地域では、平日19:00~22:00、土曜14:00~22:00及び休日9:00~18:00は、当番の医療機関が診療を行います。当番診療を行っていない時間帯については、4つの医療機関で対応しています。詳細は大牟田市ホームページ (<https://www.city.omuta.lg.jp/>) にてご確認ください。

IV 筑豊地域

休日夜間急患センター

施設名	住 所	電話番号	平日	土曜	日曜・祝日
			夜間	夜間	昼間
直方・鞍手広域市町村圏事務組合 休日等急患センター	直方市大字山部808-14	0949-28-2840		●	○ ●
★飯塚急患センター※	飯塚市吉原町1-1	0948-24-3399	●	●	● ●
田川地区急患センター	田川市大字伊田2735-11	0947-45-7199		●	● ●

※飯塚急患センターは、2024年4月に小児科を休診し、飯塚市立病院が小児科時間外診療を行う予定です。

医療機関

医療機関名	住 所	電話番号	備 考
★飯塚病院	飯塚市芳雄町3-83	0948-22-3800	救急外来のみ24時間対応
田川市立病院	田川市大字鞆1700-2	0947-44-2100	(受付時間) 平日18:00~21:30

●:小児科有 ▲:小児科医一部対応 ○:第二・第四日曜 ★:毎日診療している医療機関

(注) 小児科医がない曜日、時間があります。受診される際には、事前に電話で確認してから、お出かけください。

※上記以外で診療を行っている医療機関もありますので、ふくおか医療情報ネット (<https://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>) または医療機関案内 (#7119または092-471-0099) にてご確認ください。

※200床以上の病院では、選定療養費が掛かる場合があります。

(選定療養費: 紹介状なしに他の病院を受診する際に掛かる費用)

※掲載内容は2023年11月に確認したものです。最新の内容は各市町村や医療機関のホームページ等をご確認ください。

ほんさっし かつようほうほう 本冊子の活用方法について

さいしょ
最初に

たいせつ 3つの してん まな ひょうげん 視点を学び、表現できるようになりましょう。

- ① きげん いしき 機嫌や意識 (みため)
- ② こきゅう 呼吸 (いき) の様子
- ③ ひ ふ ようす 皮膚の様子

つぎ 7つの しょうじょう 症状 + 7つの いた 痛み + 7つの けが けが

ほん ガイドブックには、ぜん こうもく い か ないよう きさい 全21項目にそれぞれ以下の内容を記載しています。

7つの しょうじょう うつた 症状や訴え びょういん じゅしん だいひょうてき しょうじょう まな 病院に受診する代表的な症状を学びましょう

しょうじょう うつた
症状や訴え

<small>あつ たか からだ つめ</small> 熱が高い・身体が冷たい	<small>はなみず はな</small> 鼻水・鼻づまり
<small>けいれん いしき</small> けいれん・意識がおかしい	<small>せき ぜいぜい けんけん</small> せき・ゼイゼイ・けんけん
<small>おうと</small> 嘔吐	<small>げり</small> 下痢
<small>ほっしん かゆみ</small> ほっしん・かゆみ	

7つの いた ふ きげん 痛みや不機嫌 びょういん じゅしん だいひょうてき いた まな 病院に受診する代表的な痛みを学びましょう

いた ふ きげん
痛みや不機嫌

<small>げんき</small> 元気がない・ <small>きげん わる</small> 機嫌が悪い	<small>あたま いた</small> 頭が痛い
<small>みみ</small> 耳が痛い	<small>むね いた</small> 胸が痛い
<small>いぼ</small> のどが痛い	<small>なか いた</small> お腹が痛い
<small>てあし うご</small> 手足を動かさない	

7つのけがややけど 病院に受診する代表的なけがを学びましょう

けがややけど

あたま 頭を打った
め はな みみ 目・鼻・耳のけが
くち なか は 口の中・歯のけが

むね なか う 胸やお腹を打った
てあし は へんけい 手足の腫れ・変形
いんぶ 陰部のけが

やけど

気にかけて欲しいポイント

病院受診の際に、医師や看護師が知りたいポイントです。

記載されたポイントに添って、伝えましょう。

記録は大切です。メモや写真や動画で記録を残しておきましょう。

受診のタイミング

ただちに、救急車を要請

今日中に受診（6時間以内）

すぐに受診（3時間以内）

翌日に受診（12～24時間以内）

最後に

「専門医からのワンポイント・アドバイス」

しっかり読んで備えてください。

かてい かんごりよく み つ 家庭看護力を身に付けよう

こ どもの ^{きゅう} 急な ^{びょうき} 病やけがは、^{ほごしや} 保護者にとって、^{ふあん} とても不安なものです。

^{ふあん} 不安は、^{さまざま} 様々ですが……………

^{ようす} 様子を見ていても良いのか

^{びょういん} 病院を受診した方が ^{ほう} 良いのか

#8000 に ^{でんわ} 電話相談した ^{あと} 後でも、^{びょういん} 病院に ^{じゆしん} 受診した ^{あと} 後でも ^{つづ} 続くものです。

こ どもの ^{しょうじょう} 症状に ^{てきせつ} 適切に対応し、^{たいおう} 必要に応じて ^{ひつよう} 相談したり、^{おう} 正しく ^{そうだん} 伝えたり、^{ただ} 正しく ^{つた} 伝えたり、
り、^{びょういん} 病院に行くべきかを ^{いはんだん} 判断する

=この ^{はんだんのうりよく} 判断能力は かてい かんごりよく **家庭看護力** ^い と言われています。

^{ふだん} 普段から ^{せつ} 接している ^{ほごしや} 保護者だからこそ ^み 身に付けることができる ^{のうりよく} 能力です。

^{ふだん} 普段生活している ^{なか} 中で ^こ みて ^な いる ^こ 子どもに「^{ちが} いつもと ^{ようす} どこか違う ^み 様子がある」「^み パツと見た ^め 目の ^{ようす} 様子がおかしい」と ^{ふだん} いった、^{おお} 普段より ^こ 多く ^{せつ} 子どもに ^{ひと} 接している ^き 人が ^き 気づく ^{こと} ことのできる ^{こうもく} 項目となります。

^{くたいてき} 具体的には……………

^{ぜんしんじょうたい} 全身状態

^{きげん} 機嫌や ^{いしき} 意識 (みため)

^{こきゅう} 呼吸 (いき) の ^{ようす} 様子

^{ひふ} 皮膚の ^{ようす} 様子

この ^{ぜんじゆつ} 前述の ^{じょうたい} 4つの ^{つた} 状態を ^{ほうほう} しっかり伝える ^{まな} 方法を ^{まな} 学びましょう。

3 症状の伝え方

しょうじょう へんか ほごしゃ ふあん つた くふう
症状の変化と保護者の不安を伝える工夫

- (1) 「全身状態」を具体的に伝えましょう
- (2) 「機嫌や意識（みため）」の伝え方
- (3) 「呼吸（いき）の様子」の伝え方
- (4) 「皮膚の様子」の伝え方



(1) ぜんしんじょうたい ぐたいてき つた
全身状態を具体的に伝えましょう

ぜんしんじょうたい もんしん
全身状態の問診

ぐたいてき いし かんごし もんしん
具体的な医師や看護師の問診

- ① きげん いしき ようす
機嫌や意識の様子

こうふん
興奮したりぼーっとしたりしていませんか

- ② こきゅう ようす
呼吸の様子

いき くるし
息は苦しそうでないですか

- ③ かお かおいろ
顔つきや顔色

かお かおいろ か
顔つきや顔色に変わりないですか

- ④ てあし うご
手足やからだの動き

げんき うご
元気にからだを動かしますか

- ⑤ すいみん ようす
睡眠の様子

すいみん じゅうぶん と
睡眠は充分に取れていますか

- ⑥ しょくよく は げ ようす
食欲や吐き気の様子

しょくじ りょう しょくよく ていど は げ
食事の量や食欲の程度、吐き気はありますか

- ⑦ おしっこ・うんちのようす
様子

にょう べん
尿や便はいつもどおりですか

(2) 「^{きげん いしき}機嫌や意識 (みため) ^{つた かた}」の伝え方

き ほ 気にかけて欲しいポイント

- ① 「ぐったりしていないか？」

おこしてもずっと寝^ねていて起き^おしてくれない
ぜんぜんうご^{ぜんぜんうご}
全然動かない

- ② 「おもちゃなどに興味^{きょうみ}を示^{しめ}すか？遊^{あそ}ぶか？」

おと^{おと} な み あそ
音が鳴るものを見^みてくれない おもちゃで遊^{あそ}ばない

- ③ 「ぐずっていないか？」

あやしても泣^なきやんでくれない
ずっと興奮^{こうふん}して不機嫌^{ふきげん}

- ④ 「視線^{しせん}が合^あうか？」

あやしたりしても視線^{しせん}が合^あわずずっと上^{うわ}の空^{そら}のまま

- ⑤ 「会話^{かいわ}ができるか？泣^なくか？」

こえ だ な
声を出^{こえ}すことができない、泣^ないてくれない

ふだん ちが てん つた
普段とどのように違うかという点を伝えてください

(3) 「呼吸 (いき) の様子」の伝え方

き ほ
気にかけて欲しいポイント

- ① 「横になれるか？しゃべれるか？」
横よこになって休やすむことができない
横よこにすると余計よけいに息いきが苦しくるそう、会かい話わができない
- ② 「眠ねむれるか？」
横よこになることができても、寝ねることができない
すぐおに起おきてしまう
- ③ 「肩かたで呼吸こきゅうしていないか？」
呼吸こきゅうの度たびに肩かたが上じょう下げに動うごいているのが分わかる
- ④ 「鼻はながヒクヒクしていないか？胸むねが凹へこまないか？」
呼吸こきゅうの度たびに小鼻こばな (鼻翼びよく) が大おおきくなる
息いきを吸すうたたびに、あばらら (肋骨ろっこつ) が浮うき出でたり、
首くびや鎖骨さこつの辺あたりが凹へこむ
- ⑤ 「ゼーゼー音おとがしないか？」
ゼーゼーあるいはピューピューといった音おとが聞きこえる

(4) 「皮膚の様子」の伝え方

き ほ
気にかけて欲しいポイント① 「かおいろ わる
顔色が悪くないか？」あおしろ あかみ
青白い、赤味がない② 「てあし つめ
手足が冷たくないか？」からだ あつ てあし つめ
身体は熱いのに手足が冷たい③ 「ひ ふ いろ
皮膚がまだら色になっていないか？」ひ ふ あみめじょう あか ところ しろ ところ
皮膚が網目状に赤い所と白い所（まだら）になる④ 「くちびる いろ わる
くちびるの色が悪くないか？」むらさき じょうたい
紫になっている状態（チアノーゼ）⑤ 「てあし からだ つめ あせ
手足や身体に冷たい汗をかいていないか？」ふつう あせ
普通に汗をかいているわけではなく、
てあし つめ うえ
手足が冷たい上にじっとりとしている** あぶら あせ ひ あせ
脂汗や冷や汗をかいている

おも しょうじょうべつ たいしよほう
4 主な**症状別**の対処法



ねつ たか からだ つめ 熱が高い・身体が冷たい

たいおん いじょう い か じょうたい
体温が 38℃以上または 35℃以下の状態

かんさつ 観察のポイント

- ねつ たか びょうき じゅうしやうど そうかん
・ 熱の高さと病気の重症度は関連しないこともあります
- ぐったりして元気がない、顔色が悪いなどの時は、全身状態
かんさつ
を観察しましょう (⇒ p.9 参照)
- はつねつ のう あた
・ 発熱だけで、脳にダメージを与えるわけではありません
- い か ていたいおん きんきゆうせい たか
・ 35℃以下は低体温で、むしろ緊急性が高いことがあります

ただちに、救急車を要請

- いしき
✓ 意識がなく、けいれんしているとき
ねつ たか きゅうきゆうはんそう はんだん ひつよう
熱の高さのみで救急搬送を判断する必要はありません

すぐに受診 (3時間以内)

- すいぶん と はん にち て
✓ 水分が摂れず、半日おしっこが出ない
- おうと げり く かま
✓ 嘔吐や下痢を繰り返している
- ぐったりしている、ぼーっとしていて反応が悪い
はんのう わる
- きげん わる
✓ 機嫌が悪くあやしても笑わない
- せいご げつみ まん
✓ 生後3か月未満である



きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ よく眠る
- ✓ 41℃以上の発熱が続いている

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 水分（ミルクや母乳）が摂れて、おしっこも出ている
- ✓ 機嫌が悪くなく、あやすと笑ったり遊んだりできる



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ 体温はあくまでも目安であり、体温計の数字のみにこだわらないようにしてください
- ・ 3か月未満の発熱は、早めに受診しましょう
- ・ 高熱であっても元気な時は解熱剤を使用しなくていいです
- ・ 発熱時は体温を1日2～3回ほど測定しましょう
- ・ しっかりと水分を摂るようにしましょう
- ・ 発熱時は、環境（衣服・室温）で温度調整をしましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ 園や学校などでの感染症の流行状況
- ・ 経口摂取の状況（普段どおり食べたり飲んだりできるか）
- ・ 体温の推移（記録しておく伝えてやすいです）

はなみず はな 鼻水・鼻づまり

はなみず はな
鼻水、鼻づまりがあること

かんさつ 観察のポイント

- ・ 発熱^{はつねつ}など、他に^{ほか}症状^{しょうじょう}がないか
- ・ 苦し^{くる}そうな呼吸^{こきゅう}をしていないか
(⇒「せき・ゼイゼイ・けんけん」(p.19~p.20)参照^{さんしょう})
- ・ 哺乳^{ほにゅう}、食事^{しょくじ}、水分^{すいぶん}が摂^とれているか
- ・ ぐったり^{ぐったり}していないか

ただちに、救急車^{きゅうきゅうしゃ}を要請^{ようせい}

- ✓ 苦し^{くる}そうな呼吸^{こきゅう}をしている (話^{はな}せない、泣^なけない)
- ✓ 浅^{あさ}い弱々^{よわよわ}しい呼吸^{こきゅう}をしている
- ✓ その他、命^{いのち}の危険^{きけん}を感じる状態^{じょうたい}

すぐに受診^{じゅしん} (3時間^{じかん}以内^{いない})

- ✓ 生後^{せいご}3か月未^{げつみまん}満^{まん}で、38℃以上^{いじょう}の発熱^{はつねつ}がある
- ✓ ぐったり^{ぐったり}している
- ✓ 息^{いき}を吸^すう度^{たび}に、のど、肋骨^{ろっこつ}の間^{あいだ}、みぞおち^{へこ}などが凹^{へこ}む

今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 耳を強く痛がる
- ✓ 耳の中から液体や膿が出てくる（耳垂れ）
- ✓ 熱があり、のどの痛み（咽頭痛）が2日以上続いている

翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 鼻水や鼻づまりで、なかなか寝付けない
- ✓ 鼻水や鼻づまりが2週間以上続いている
- ✓ 熱がなく、のどの痛みが2日以上続いている
- ✓ 熱がなく、耳を痛がる



専門医からのワンポイント・アドバイス

家庭でのケアのポイント

- ・鼻づまりで苦しそうなときは鼻を吸ってあげましょう
- ・蒸しタオルで鼻を拭くのも効果的です
- ・部屋の湿度は、50～60%を目安に調整しましょう

医師に伝えてほしいこと

- ・鼻水の状態（色やにおいなど）
- ・発熱の有無 ・呼吸の状態
- ・経口摂取の状況（普段どおり食べたり飲んだりできるか）

せき・ゼイゼイ・けんけん

きどう びょうき しょうじょう
気道の病気の症状

かんさつ 観察のポイント

- ・顔、くちびる、手足の皮膚の色（青白い、紫色）はどうか
- ・肩で息をしていないか（肩呼吸）
- ・肋骨の間、鎖骨の上、のどのがくぼまないか（陥没呼吸）
- ・反応が悪くないか、苦しくて興奮していないか

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい 救急車を要請

- ✓ 顔色が青白く、くちびるが紫色である
- ✓ 意識がおかしい（反応が悪い、眠りがち、興奮している）
- ✓ 苦しくて横になれない、会話ができない
- ✓ 遊びや食事の途中に、突然咳き込み、苦しようになった
- ✓ 急に、じんま疹とともに咳き込み、呼吸が苦しようになった

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 呼吸回数が多い
- ✓ 肩で息をしている・肋骨の下、鎖骨の上、のどのがくぼむ
- ✓ 息を吸うときに鼻を広げたり、吐くときに唸ったりする
- ✓ 息を吸うときに、のどのあたりで音がする
- ✓ 犬が吠えるような“けんけん”とせきをする

きょうじゅう じゅしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ せきがとまらない、せきこんでおうと
- ✓ したく たいおう きゅうにゅう ないふくやく で、せき・ぜんめい（セイゼイ、ヒューヒュー）がかいぜんしない

よくじつ じゅしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ ぜんめい（セイゼイ、ヒューヒュー）はあるが苦しそうでなく、しょくじ ほにゅう すいみん 食事や哺乳ができ、睡眠もとれる
- ✓ したく たいおう きゅうにゅう ないふくやく で、しょうじょう かいぜん 自宅での対応（吸入や内服薬）で、症状が改善する



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・せきは、きどう くうき とおろ みち からたん いぶつ はいじょ 痰、異物を排除する
しぜん はんのう 一般的なので、いっぱんてき ほんにん 本人が苦しくなければ、
もんだい 問題ないことが多いです

い 医師に伝えてほしいこと

- ・かおいろ こきゅう じょうたい 顔色、呼吸の状態
- ・ねお 眠れているか ・ふだん 普段どおり たべたり のみ 飲んだりできるか
- ・からだのむきによって、しょうじょう 症状がかいぜん 改善、またはあくつか 悪化しないか
- ・アレルギーをうたが た もの ぐすり など を せつしゅ 摂取していないか
- ・ちよくぜん 直前に、おもちゃやまめ などをくちい 口に入れていなかったか

いしき けいれん・意識がおかしい

からだを振るわせ、呼びかけに反応しない

かんさつ 観察のポイント

- ・ 顔色、視線の向きはどうか
- ・ 手足の様子はどうか（ピン、がくがく、ダラーン）
- ・ おかしな動きは、身体の右側にも左側にもみられるか
- ・ 時計をみて、けいれんが続いている時間を確認しましょう
- ・ けいれんが落ち着いたら、体温を測定してください
- ・ けいれんが止まった後に、名前を呼んで反応するか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 5分以上続くとき（初めての時はその限りではありません）
- ✓ 顔がまっ白だったり、くちびるが紫色だったりするとき
- ✓ けいれんの後も、呼びかけに反応が悪いとき
- ✓ 繰り返しおこしたとき

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 身体の片側だけが、けいれんしていたとき
- ✓ 最近、頭を激しく打ったことがあるとき
- ✓ 嘔吐を繰り返すとき
- ✓ 元気がなかったり、ぐったりしているとき
- ✓ 生後6か月未満



きょうじゅう じゆしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 今回のけいれんが、人生ではじめてで、けいれんが止まった後に意識が普段と変わらないとき

よくじつ じゆしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 今までに医師から「熱性けいれん」と言われ、けいれんも1回だけで5分以内に止まり、意識が普段と変わらないとき



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・あわてず、周りにある危険な物をよけましょう
- ・顔を横に向け、吐いたもので窒息しないよう注意しましょう
- ・口の中に指や割りばしなどを入れないようにしましょう
- ・揺すったり、たたいたりしないようにしましょう

い
医師に伝えてほしいこと

- ・今まで、けいれんを起こしたことがあるか
- ・家族にけいれんをしたことのある方がいるか
- ・発熱の有無
- ・けいれん中の様子

おうと 嘔吐

胃の中なかのものを口くちから吐はきだしてしまうこと

観察かんさつのポイント

- ・嘔吐おうとの回数かいすうはどうか、吐はいたものに血ちが混まじっていないか
- ・嘔吐おうとの量りょうや様子ようすはどうか（噴水状ふんすいじょうに嘔吐おうとしていないか）
- ・下痢げりや血便けつべん（血ちが混まじったうんち）、腹痛ふくつうがないか
- ・頭痛ずつうや発熱はつねつがないか、顔色かおいろが悪わるくないか

ただちに、救急車きゅうきゅうしやを要請ようせい

- ✓ 意識いしきがなく、ぐったりして反はん応のうが乏とぼしい
- ✓ けいれんしている
- ✓ 非常ひじょうに強つよい腹痛ふくつうや頭痛ずつうがある
- ✓ 大量たいりょうに血ちを吐はいた

すぐじゆんに受診じかん（3時間以内）

- ✓ 短時間たんじかんに繰くり返かえし嘔吐おうとしている
- ✓ 元氣げんきがない・くちびるや口くちの中なかが渴かわいている・涙なみだがでない
- ✓ 半日はんじちじょう以上おしっこがでていない
- ✓ お腹なかが硬かたく張はっている
- ✓ 吐はいたものに少すこし血ちが混まじる
- ✓ 頭あたまを打うった後あとに嘔吐おうとを繰くり返かえしている

きょうじゅう じゆしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 吐き気はおさまってきたが、飲み食いすると嘔吐する
- ✓ なんとなく機嫌が悪い、眠れない

よくじつ じゆしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 顔色がよく、元気があり、水分も摂れている



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・脱水症にならないように、こまめに水分を摂りましょう
- ・顔を横に向け、吐いたもので窒息しないよう注意しましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・嘔吐の回数、嘔吐の様子、どのようなものを吐いたか
- ・下痢・血便・腹痛・頭痛・発熱などの症状がないか
- ・生ものを食べていないか、周囲に胃腸炎の流行がないか
- ・頭を強く打っていないか

げり 下痢

水分量の多い便が何度も繰り返し出ること

観察のポイント

- 回数や量がどれくらいか
- 下痢の色と性状
- 下痢のにおい（酸っぱいにおい、腐ったようなにおい）
- 他に症状がないか（発熱、腹痛、嘔吐、不機嫌、ぐったり）
- おしっこが減っていないか
- 体重が減っていないか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 呼びかけても反応がとぼしい（反応がうすい）

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 強い腹痛がある
- ✓ お腹を触ると、張っていて硬い
- ✓ 何度も嘔吐を繰り返す
- ✓ 血便（血が混じったうんち）が続く
- ✓ くちびるや口の中が渇いている・泣いても涙が出ない
- ✓ 半日以上おしっこが出ていない
- ✓ 顔色が悪く、ぐったりしている

きょうじゅう じゆしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ はきけがあつてすいぶんのが飲めない
- ✓ すいようせい げりみず（水のような下痢）が1日6回以上出る

よくじつ じゆしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ ねつ ふくつうがなく、きげんもよくげんき
- ✓ すいぶん しょくじがいつもとかわらず摂れている



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- しぼう おお しょくじ さとう いんりよう さ
脂肪の多い食事や砂糖入り飲料は避けましょう
- すいぶん
水分をこまめに摂るようにしましょう
- しゅうい かんせんよぼう おぶつ しょり
周囲への感染予防のため、汚物の処理のあとは、しっかりと
てあら
手洗いをおこないましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- げり きかん かいすう りよう べん せいじよう いろ
下痢の期間、回数、量、便の性状や色・におい
- た しょうじょう はつねつ ふくつう おうと ふきげん
その他の症状（発熱、腹痛、嘔吐、不機嫌、ぐったり）
- すいぶん と
水分が摂れているか、おしっこがすく
すく
少なくないか
- なま た
生ものを食べていないか、周囲に胃腸炎の流行がないか

ほっしん・かゆみ

ほっしん ひぶ 皮膚のブツブツ・湿疹・じんま疹、しはん 紫斑、てんじょうしゅっけつ 点状出血・かゆみ

観察のポイント

- ・ブツブツの大きさ、場所、色、水ぶくれ、かゆみの程度
- ・どこから始まって、どこに広がっていったか
- ・発熱がないか、息苦しさ、ゼイゼイ、せきがないか
- ・口にした食べ物や薬、触った動物や植物など

ただちに、救急車を要請

- ✓ 息苦しそう（ゼイゼイ、せき、声のかすれ）
- ✓ 顔色が悪く、ぐったりしている
- ✓ 嘔吐を繰り返す・血便、下痢、お腹を痛がる

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 我慢できないかゆみ（眠れない、機嫌が悪い）
- ✓ 食べ物、薬を口にした後、ほっしんが出てどんどん広がる
- ✓ 目、顔、唇が腫れてきた
- ✓ 鼻血が出て止まりにくい、あざが増えた

きょうじゅう じゅしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ かゆみが続く
- ✓ 発熱がある
- ✓ 赤～紫色のブツブツが足などにたくさんある

よくじつ じゅしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ ほっしんだけで、元気があり、ぐったりしていない
- ✓ かゆみが少して、我慢できる
- ✓ 虫さされや、かぶれて、腫れが広がっていない
- ✓ 予防接種のところが腫れた



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・かゆみの範囲が小さければ、水やタオルで冷やしましょう
- ・温まると、かゆくなるので、お風呂にはつからず、軽くシャワーで流す程度にしましょう
- ・アレルギーのある子は、対応をかかりつけ医に聞いておきましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ほっしんを正確に伝えるのは難しいので、スマートフォンなどで写真を撮っておきましょう
- ・ほっしんが出たときに食べた物や触ったもの

げんき きげん わる 元気がない・機嫌が悪い

げんきなく うごき が 少ない、きげん が 悪く 泣き止まない・興奮している

かんさつ 観察のポイント

- ・あやしたり、抱っこをしたり、興味を示すものを与えると
機嫌がなおるか
- ・意識はどうか（普段どおり／受け答えがあいまい）
- ・顔色はどうか（普段どおり／赤い／青白い）
- ・泣き声はどうか（普段どおり／弱々しい／かん高い泣き声／
「うー」とうめくように泣く）

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい ただちに、救急車を要請

- ✓ 意識がおかしい（視線が合わない、つねっても反応しない、
まったく動かない）
- ✓ ぐったり（うとうと）していて、反応が悪い
- ✓ けいれんしている

じゅしん じかんい すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 普段と比べて元気がない・眠りがち
- ✓ 呼吸がきつそうで、顔色が普段と比べて悪い
- ✓ 生まれてから3か月までの赤ちゃんの38℃以上の発熱



今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 水分や食事が摂れず、おしっこの回数が減っている
- ✓ 嘔吐や下痢が止まらない
- ✓ 不機嫌が一時的（おもちゃや好きなもので気がまぎれる）

翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 顔色が悪くない
- ✓ 解熱鎮痛剤（解熱作用・鎮痛作用があるお薬）を使って不機嫌ではなくなった
- ✓ 食欲が十分ある、通常どおり眠れている



専門医からのワンポイント・アドバイス

家庭でのケアのポイント

- ・まずは、あやししたり、抱っこをしたり、興味を示すものを与えると不機嫌が改善するかを確認しましょう

医師に伝えてほしいこと

- ・熱はいつからあるか
- ・周囲に熱のある人はいるか
- ・熱以外の症状があるか

あたま いた 頭が痛い

あたま いた ずつう
頭が痛い・頭痛

かんさつ 観察のポイント

- ・頭痛のほかに症状はあるか
(発熱や吐き気、意識の状態がおかしいなど)

ただちに、救急車を要請

- ✓ 目つきがおかしい、視線が合わない
- ✓ 意味不明の言動がある
- ✓ 発熱と繰り返す嘔吐があり、首を前に曲げると痛みが増す
- ✓ 急にバットで殴られたような頭痛があり、強く動けない

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 発熱がなくとも強い痛みがある
- ✓ 身体の力が入らない
- ✓ 高熱と嘔吐がある・水分や食事が摂れない

きょうじゅう じゆしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ はつねつ おうと
発熱はあるが、嘔吐がない
- ✓ はつねつ よわ いた つづ
発熱がなく弱い痛みが続く

よくじつ じゆしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ はつねつ づつう いちじてき げんざい いた
発熱がなく、頭痛も一時的で、現在は痛がっていない



せんもんい 専門医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ づつう は、かぜなどの発熱を伴う疾患によるものが多く、
基本的な疾患の回復とともにおさまるものがほとんどです
- ・ まれに髄膜炎や脳出血、脳腫瘍などが隠れているときが
あります。意識の状態が普段と違う場合は注意しましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ きゅう おこる ばあい と、かいぜん されず に 何度 も 繰り返 し 起こる 場合
で 疑 う 疾患 が 変わります
- ・ いた 痛みのきっかけ
（光を見た後？ 大きな音を聞いた後？ ストレス？）
- ・ いた じかんたい あさ おお おと き あと？
痛がる時間帯（朝起きてすぐ、夕方から夜、一日中など）
- ・ いた ばしょ どうちようぶ そくどうぶ ぜんどうぶ
痛がる場所（頭頂部、側頭部、前頭部など）
- ・ いた 質（ズキズキ、締め付けられるような、ジンジン、
チクチクなど）

みみ いた 耳が痛い

ちゅうじえんのおお
中耳炎のことが多いですが、さまざまな原因があります

かんさつ 観察のポイント

- ・ 耳垂れ（耳の中から液体や膿が出てくる症状）や、耳たぶを引っ張った際の痛みがあるか（中耳炎が疑われます）
- ・ 耳たぶが立ったり、耳の後ろの腫れや赤みがあるか
- ・ 耳の穴に異物（豆、おもちゃ、虫など）が入っていないか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 発熱に伴ってけいれんがあったときや意識がおかしいとき

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ ぐったりしている・何度も吐く

きょうじゅう じゅうしん じかんい 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 痛みで眠れない・解熱鎮痛剤を使っても痛みがおさまらない
- ✓ 耳の中から液体や膿が出てくる（耳垂れ）
- ✓ 耳の聞こえが悪い
- ✓ 痛い方の耳たぶに変形や腫れ、赤みがある（触ると激痛）



翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 痛が^{いた}ついても眠^{ねむ}れる・解熱鎮痛^{げねつちんつうざい}剤^{いた}で痛みがおさまる
- ✓ 耳たぶ^{みみ}の変形^{へんけい}や腫^はれ、赤^{あか}みがない
- ✓ 耳垂^{みみだ}れ（耳^{みみ}の中^{なか}から液体^{えきたい}や膿^{うみ}が^で出てくる症^{しょうじょう}状）がない
- ✓ 耳^{みみ}の聞^きこえがいい



専門医^{せんもんい}からのワンポイント・アドバイス

か 家庭^{てい}でのケアのポイント

- ・中耳炎^{ちゅうじえん}の多^{おほ}くは、鼻^{はな}づまりが原因^{げんいん}です
- ・耳^{みみ}を触^{さわ}る、頭^{あたま}を左^さ右^{みぎ}に振^ふる、激^{げき}しく夜泣^{よなき}きをするなどは耳^{みみ}の痛^{いた}みの徴候^{ちようこう}であることがあります
- ・中耳炎^{ちゅうじえん}の初^{しよ}期^きは解熱鎮痛^{げねつちんつうざい}剤^かのみで改善^{かいぜん}することも多^{おほ}く、夜^{よる}は手^て持^もちのお薬^{くすり}を使^{つか}って翌日^{よくじつ}受診^{じゆしん}でも構^{かま}いません

い 医^し師^しに伝^{つた}えてほしいこと

- ・耳垂^{みみだ}れ（耳^{みみ}の中^{なか}から液体^{えきたい}や膿^{うみ}が^で出てくる症^{しょうじょう}状）の有^う無^む
- ・耳^{みみ}の聞^きこえ方^{かた}
- ・発熱^{はつねつ}の有^う無^む

いた のどが痛い

のどや首の前の方の痛み 飲み込むときの痛み

かんさつ 観察のポイント

- ・よだれを垂らしていないか
(のどの炎症による痛みで、つばを飲み込めない)
- ・声が出るか・かすれたりしていないか
(のどが腫れて、空気の通り道が狭くなっている)
- ・呼吸が苦しそうでないか
(のどが腫れて、空気の通り道が狭くなり呼吸ができなくなっている)
- ・熱がないか (のどの周囲に感染を起こしている)
- ・首が腫れていないか (のどの周囲に炎症が広がっている)

ただちに、救急車を要請

- ✓ 呼吸が苦しそう (窒息の手前、ヒューヒュー、ゼイゼイ、肩で息をする、くちびるの色や顔色が悪い)
- ✓ 意識が悪い (ぐったりしている、視線が合わない)

すぐに受診 (3時間以内)

- ✓ よだれが増えた
- ✓ 声がかくぐもったり、かすれたりしている
- ✓ のどの腫れや痛みで、口を開けられない

きょうじゅう じゆしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 食べられていない・活気がない
- ✓ 何となくおかしいと感じる
- ✓ 発熱が続いている
- ✓ 首が腫れている、首を傾けている

（痛みや腫れのために、痛む側に傾けるのを避けている）

- ✓ ほっしんや腹痛がある



よくじつ じゆしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ よく食べられている・元気に遊んでいる・機嫌がよい
- ✓ 安眠できている
- ✓ 呼吸が落ち着いている



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ 部屋を加湿したり、普段より多めに水分を摂ったりするようにしましょう
- ・ のどの痛みの原因の大半は、自然におさまるウイルス性ののどかぜで、自宅で様子をみることが出来ます
- ・ のどの痛み以外の急ぐ症状があれば急いで受診しましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ 発熱の有無
- ・ 呼吸の様子、声の出方

むね いた 胸が痛い

胸の締め付けられるような痛み、刺すような痛み、不快感など

かんさつ 観察のポイント

- ・ こどもの胸の痛みのほとんどは一時的なもので、
命に関わらないものがほとんどですが、時に重篤な病気の
サインであることがあります
- 痛みの場所や程度
- 持続時間
- 痛みのきっかけ（運動、食事など）
- 打撲の有無を確認しておきましょう

ただちに、救急車を要請

- ✓ 顔色が悪く、ぐったりとしている
- ✓ 意識がはっきりしない
- ✓ 呼吸がきつそう
- ✓ 冷や汗をかいたり、動けなかったりするほどの激痛
- ✓ 運動がきっかけとなった、安静にしても改善しない強い痛み

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 強い痛みが持続する
- ✓ 発熱、嘔吐などの他の症状を伴う
- ✓ 心臓病や川崎病の後遺症などの持病がある

きょうじゅう じゅしん じかんいなし 今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 軽い痛み以外に症状はないが、痛みが続いている

よくじつ じゅしん じかんいなし 翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 持続しない軽度の痛み
- ✓ 痛み以外の症状がない
- ✓ 元気がある



せんもんい せんもん医からのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- 心臓病によるこどもの胸痛はまれで、大半は問題のない一時的なものです
- まれに重大な疾患の症状であることもあるため、痛みが強い場合や、持続時間が長い場合、その他の症状を伴う場合は、急いで受診しましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- 痛みの場所や程度、持続時間、きっかけ（運動、食事など）
- 打撲の有無
- 川崎病の後遺症や生まれつきの心臓病がないか

なか いた お腹が痛い

「お腹が痛い」と言う、お腹を触ると嫌がる、お腹が張っている

かんさつ 観察のポイント

- ・ 元気さ、痛がり方、表情、姿勢などをよく観察しましょう
- ・ こどもの胃や腸は未熟で、腹痛の原因は様々です
- ・ お腹の病気以外でも「お腹が痛い」と訴えることがあります

ただちに、救急車を要請

- ✓ 元気がなく、ぐったりしている
- ✓ 意識がもうろうとしている
- ✓ ガチガチにお腹が張っている
- ✓ そけい部（足の付け根）や陰のうが腫れている
- ✓ うんちにたくさんの血が混じっていて、ぐったりしている
- ✓ 顔色不良



すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 動けないほどの痛みが続く
- ✓ お腹を軽く押すだけでも強い痛みがある
- ✓ 嘔吐を何度も繰り返して、水分を全く摂れない
- ✓ コーヒーの残りカスのようなものを吐いた
- ✓ 半日以上おしっこが出ていない
- ✓ イチゴゼリーのようなうんちが出た

今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 痛みがよくなったり悪くなったりしながら続いている
- ✓ 水分を少ししか摂れない・嘔吐や下痢がある
- ✓ 家族や一緒に食事をした人に同じ症状がある
- ✓ おしっこに血が混じっている・おしっこをすると痛がる

翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 活気があり機嫌がよい
- ✓ うんちが出ると、痛みがよくなった
- ✓ 食事や水分をいつもどおりに摂れている



専門医からのワンポイント・アドバイス

家庭でのケアのポイント

- ・「の」の字を描くようにお腹全体を優しくマッサージしてあげると、痛みが軽くなることがあります
- ・冷たいものを摂ったあとにお腹を痛がる時は、毛布やタオルケットでお腹を温めてみましょう

医師に伝えてほしいこと

- ・痛みの場所や程度、持続時間
- ・嘔吐・下痢の有無
- ・便の性状
- ・発熱の有無

てあし うご 手足を動かさない

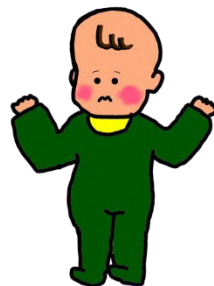
もともとしてきていた手足の動きが不自由な状態

かんさつ 観察のポイント

- ・手足が腫れているか
- ・痛みやしびれがあるか
- ・触っているのがわかるか
- ・手足の色が悪いか
- ・不機嫌や発熱などの、その他の症状があるか
- ・手足のどの部分の動きが悪いか
(左右両方か片方か、手だけか足だけか)
- ・症状が急に起こったか、徐々に起こったか
- ・症状が持続するか、よくなったり悪くなったりするか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 意識が悪い
- ✓ 呼吸がしにくそう
- ✓ しゃべりにくい



すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 外傷（けが）の後に変形や腫れがある
- ✓ 動かさない
- ✓ 動かさなくなった手足の関節が腫れていたり、赤くなったり、熱くなったりしている

翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 症状が一時的で、改善して機嫌もよい
- ✓ 以前にも同じ症状があり、医療機関で診断を受け、今回は症状がよくなってきている
- ✓ 症状の訴えははっきりしないが、歩き方がいつもと違う



専門医からのワンポイント・アドバイス

家庭でのケアのポイント

- ・ こどもは、症状を上手に伝えられないので判断に迷うことも多いでしょう。判断に悩むことがあれば小児科医に相談してください。

医師に伝えてほしいこと

- ・ 症状が急に起こったか、徐々に起こったか
- ・ 手足の腫れ・痛みやしびれの有無・程度
- ・ 触れているのがわかるか ・色が悪いか
- ・ 不機嫌や発熱などの、その他の症状があるか
- ・ 手足のどの部分の動きが悪いか
- ・ 症状が持続するか、よくなったり悪くなったりするか

あたま う 頭を打った

ずつう おうと はんのう にぶ かのうせい
頭痛や嘔吐、反応が鈍くなる可能性があります

かんさつ 観察のポイント

- ・ ずつう うむ
頭痛の有無
- ・ はけ おうと うむ
吐き気、嘔吐の有無
- ・ けいれん うむ
けいれんの有無
- ・ はんのう うむ ふだん うこた
反応の有無（普段どおり／受け答えがあいまい）

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい 救急車を要請

- ✓ しせんがあわな、つねっても はんのう
視線が合わない、つねっても反応しない、まったく動かない
- ✓ たくさんちがでていて、とまらない
たくさん血が出ていて、止まらない
- ✓ けいれんしている
けいれんしている

じゅしん じかんい すぐに受診（3時間以内）

- ✓ はんのう
反応がないときがあった
- ✓ おうと
嘔吐があった
- ✓ たくさんちがでて、ちがでるようなきず
たくさん血が出た、血が出るような傷ができた

きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ たんこぶが^{おお}大きくなってきた
- ✓ ぐったりしていて^{げんき}元気がない

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ いつもどおりだが、たんこぶが^き気になる
- ✓ いつもどおりだが、^{しんぱい}心配・^{ふあん}不安



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・ ^{あたま}頭を^う打った^{あと}後の^{ようす}様子を^{かんさつ}観察しましょう
- ・ ^{しゅっけつ}出血している^{ばあい}場合は、きれいなタオルで^お押さえましょう
- ・ たんこぶは^ひ冷やしてあげましょう
- ・ ^{あたま}頭を^う打ってから^{いちにち}一日は^{ようす}様子を^{かんさつ}観察しておきましょう

い
医師に伝えてほしいこと

- ・ どのような^{じょうきょう}状況で^{あたま}頭を^う打ったか
- ・ いつもと^{こと}異なる^{ようす}様子があるか

むね なか う 胸やお腹を打った

むね いた おうと なか いた て かのうせい
胸の痛み、嘔吐やお腹の痛みが出る可能性があります

かんさつ 観察のポイント

- いた う む いた つよ いた
・ 痛みの有無、痛みが強くないか、痛みがひどくなっていないか
- いきぐる むなぐる う む
・ 息苦しさ、胸苦しきの有無
- は け おうと う む
・ 吐き気、嘔吐の有無
- は べん ち ま
・ 吐いたものや便に血が混じっていないか

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい 救急車を要請

- ✓ しせん あ はんのう まった うご
視線が合わない、つねっても反応しない、全く動かない
- ✓ むね なか いた つよ いた うご
胸やお腹の痛みが強い、痛みで動けない
- ✓ いきぐる
息苦しそう
- ✓ おうと と
嘔吐が止まらない

じゅしん じかんい すぐに受診（3時間以内）

- ✓ は べん ち ま
吐いたものや便に血が混じっている
- ✓ たん ち ま
痰やおしっこに血が混じっている、赤い
- ✓ う ち て ち て きず
打ったところから血が出た、血が出るような傷ができた

きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ ねつがでてきた
- ✓ いた痛みがよくなるらない
- ✓ おうと嘔吐した

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ いつもどおりだが、しんぱい・ふあん
心配・不安



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・ おね なか う あと ようす かんさつ
胸やお腹を打った後の様子を観察しましょう
- ・ びょういん いくまえに、の 飲んだり食べたりするのは避けましょう

い
医師に伝えてほしいこと

- ・ どんな じょうきょう おね なか う
どんな状況で胸やお腹を打ったか
- ・ いつもと異なる様子があるか

め はな みみ 目・鼻・耳のけが

けがにより血が出たり、見えない、聞こえない場合があります

かんさつ 観察のポイント

- ・ 目では、目を開くことができるか、ものが見えているか
- ・ 鼻では、形が変わっていないか、血は押さえて止まるか
- ・ 耳では、血が出ていないか、音が聞こえているか

ただちに、救急車を要請

- ✓ 目が開けられない、見えない
- ✓ 鼻血が止まらない
- ✓ 耳から血が出ている、聞こえない

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ 嘔吐している
- ✓ 涙に血が混じっている
- ✓ 血が出るような傷がある
- ✓ 目・鼻・耳に異物（おもちゃなど）が入っている

きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 鼻の形が変わった、腫れている

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 鼻血は止まったが、黒い便が出た
- ✓ いつもどおりだが、心配・不安



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・鼻血は座らせて、前かがみにして鼻の柔らかいところを5分程度つまみます。5～10分程度で止まります
- ・目・鼻・耳に何かが入っているときは、無理やり取るようなことはせず、受診してください

い
医師に伝えてほしいこと

- ・どんな状況でけがをしたか
- ・いつもと異なる様子があるか

くち なか は 口の中・歯のけが

けがにより血が出たり、歯が欠けたりする可能性があります

かんさつ 観察のポイント

- ・ 血が止まるか
- ・ どこから血が出ているか
(くちびる、歯ぐき、舌、のどの奥など)
- ・ 歯が欠けたり、ぐらぐらしていないか

ただちに、救急車を要請

- ✓ どんどん血が出てきて止まらない
- ✓ 口の中に異物(歯ブラシなど)が刺さったまま
- ✓ けいれんしている

すぐに受診(3時間以内)

- ✓ 歯が欠けたり、ぐらぐらしている
- ✓ だらだら血が出てきて止まらない

きょうじゅう じゆしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 血は止まったが、けがをした
- ✓ 傷を痛がる

よくじつ じゆしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ いつもどおりだが、心配・不安
- ✓ 熱が出てきた



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ 口の中に歯ブラシなどが刺さった場合は、抜かずに救急車を呼びましょう
- ・ 欠けたり、抜けた歯は、洗わずに牛乳につけて病院へ持って行きましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ どんな状況、どのようなものでけがをしたか
- ・ いつもと異なる様子があるか

てあし は へんけい 手足の腫れ・変形

てあしのけがで腫れている、痛みで動かさない

かんさつ 観察のポイント

- ・ けがをした部位に腫れや変形がないか
- ・ 痛みがどんどん強くなっていないか
- ・ 血が出ていないか

ただちに、きゅうきゅうしゃ ようせい 救急車を要請

- ✓ どんどん血が出てきて止まらない
- ✓ ひどく腫れたり、変形して動けない

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ けがをしたところに大きな傷がある、血が出ている
- ✓ 動かしたり、触ったりすると痛がる
- ✓ けがをした手や足がしびれる
- ✓ けがをした手や足を動かさない

きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 血は止まったが、けがをした
- ✓ 傷を痛がる

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ いつもどおりだが、心配・不安
- ✓ 痛みや腫れがひかない



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・ 血が出ている場合は、きれいなタオルなどで押さえましょう
- ・ 腫れや痛みは冷やして、軽く押さえ、心臓より高い位置にする
と時間とともに改善することがあります
- 横になって、枕などで手足を高くして様子を見てみましょう

い
医師に伝えてほしいこと

- ・ どんな状況、どのようなものでけがをしたか
- ・ いつもと異なる様子があるか

いんぶ 陰部のけが

せいき こうもん にょうどう
性器や肛門、尿道のけが

かんさつ 観察のポイント

- ・ けががどこにあるか、血が出ていないか
- ・ おしっこが出るか、血が混じってないか
- ・ 痛みがどんどん強くなっていないか

ただちに、救急車を要請

- ✓ どんどん血が出てきて止まらない
- ✓ 陰部がひどく腫れている・強い痛みがある

すぐに受診（3時間以内）

- ✓ おしっこに血が混じっている
- ✓ おしっこが出ない
- ✓ 血が出ている
- ✓ 性器が腫れている

きょうじゅう じゆしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 傷が腫れている
- ✓ 傷を痛がる

よくじつ じゆしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ いつもどおりだが、心配・不安
- ✓ 痛みや腫れがひかない



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭でのケアのポイント

- ・ けがをした場所を見せられない場合があるため、わからないときは病院を受診しましょう
- ・ 陰部をけがしたときも、お腹の痛みを訴えることもあるので注意しましょう

い
医師に伝えてほしいこと

- ・ どんな状況、どのようなものでけがをしたか
- ・ いつもと異なる様子があるか

やけど

あつ 熱いものをさわ 触ったり、あつ 熱いものがかかったりしておこる

かんさつ 観察のポイント

- なに (が)、どのくらい、さわ 触った (かかった) か
- じかん とともにへんか 変化しないか
(あか 赤いだけか、みずぶく 水膨れができていないか)
- いた 痛みがどんどんつよ 強くならないか

ただちに、きゅうきゅうしゃ 救急車をようせい 要請

- ✓ おお 顔にやけどをした
- ✓ ひろ 広いはんい 範囲にやけどをした (じょうはんしん 上半身、かたうで 片腕、かたあし 片足など)

すぐにじゅしん 受診 (3じかん 時間以内)

- ✓ みずぶく 水膨れができている、みずぶく 水膨れがやぶ 破れてかわ 皮がめくれている
- ✓ いた 痛みがつよ 強い
- ✓ やけどをしているのにいた 痛みをかん 感じない

きょうじゅう じゆしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ 赤^{あか}みがとれない
- ✓ 痛^{いた}みがある

よくじつ じゆしん じかんいなし
翌日に受診（12-24時間以内）

- ✓ いつもどおりだが、心配^{しんぱい}・不安^{ふあん}
- ✓ 赤^{あか}みや痛^{いた}みがひかない



せんもんい
専門医からのワンポイント・アドバイス

か
家庭^{てい}でのケアのポイント

- ・ やけどしたところを水道水^{すいどうすい}で5分程度^{ふんていどひ}冷やしましょう
- ・ 服^{ふく}を着^きている場合は脱^ぬがさず、服^{ふく}の上^{うへ}から水^{みず}をかけましょう
- ・ 水膨^{みずぶく}れは壊^{こわ}さないようにしましょう
- ・ やけどは翌日^{よくじつ}ひどくなっている場合^{ばあい}もあるので、水膨^{みずぶく}れができる^{じゆしん}ようなら受診^{じゆしん}しましょう

い
医師^しに伝^{つた}えてほしいこと

- ・ どんな状^{じょうきよう}況^{きよう}、どのようなものでやけどをしたか
- ・ いつもと異^{こと}なる様^{ようす}子^すがあるか

5 ^{きゅうめいきゅうきゅうしよち}救命救急処置 ^{そせい}(蘇生ガイドライン ^{じゅんきよ}準拠)



心肺蘇生法

119番通報とAEDの手配、胸骨圧迫（心臓マッサージを）続ける
これだけでもやりました！

反応がない



助けを呼ぶ（119番通報とAEDの手配）

呼吸があるかないか、
胸とお腹の動きを確認

呼吸の確認（普段どおりの息をしているか）

息をしていない
わからない

息をしている

気道確保（息をしやすい状態に）
して救急隊を待つ

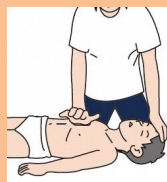
必ず

胸骨圧迫（心臓マッサージ）

強く（胸の厚さの1/3）
速く（1分間に100～120回）
絶え間なく（中断を最小に）



1歳未満



1歳以上

圧迫する部位は胸の真ん中
圧迫するたびに胸が元の高さに
戻ることを確認しましょう



あごを上げ、頭を後ろに曲げて、
顔は少しのけぞるように

できれば

人工呼吸

人工呼吸の技術と
行う意思があれば

胸骨圧迫30回に
人工呼吸2回 の組合せ

人工呼吸に手間取って
胸骨圧迫が途切れることだけは
絶対に避けましょう！

AEDが到着

小学生以上

成人用パッド/モードを使用する
*小学生に小児用を使用しない

未就学児

- ・小児用パッド/モードを使用する
- ・なければ成人用を使用する
- ・胸と背中に貼る等、パッドが重ならないようにする

AEDを使う（電源を入れる）

電源を入れると、AEDから音声が流れ、手順を指示するので、医学の知識がない一般の方でも使えます。
(蓋をあげると自動的に電源が入るAEDもあります)



AEDが心電図を解析（電気ショックは必要か）

必要あり

必要なし



- ① 電気ショック1回
- ② その後すぐに、胸骨圧迫から心肺蘇生を再開（2分間）

すぐに、胸骨圧迫から心肺蘇生を再開（2分間）

AED自動回答

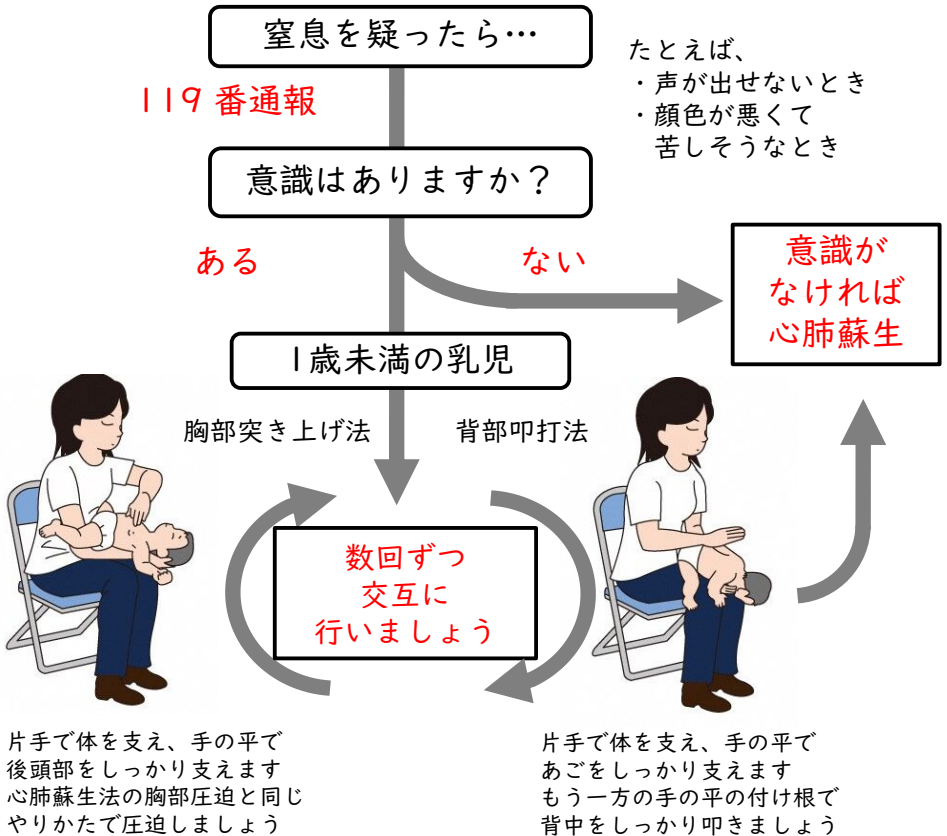
AEDの解析（必要あれば電気ショック）
と心肺蘇生を繰り返します

**正常な呼吸か目的のある仕草が認められる
または 救急隊と交代するまで続けましょう**

AEDとは

- ・AED（自動体外式除細動器）は、心臓がけいれんして、血液を流す機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。
- ・消防署などでは、住民の方々向けの救命講習会を行っています。積極的に参加して、もしも…のときに備えておきましょう。
※詳しくは、お近くの消防署へ

ものがのどに詰まった時の応急処置



1歳以上の幼児

腹部突き上げ法（ハイムリック法）

背後から両腕を回し、子どものみぞおちの下で片方の手を握り拳にします。
その手で腹部を上方へ圧迫しましょう。



異物が取れるか、救急隊と交代するまで続けましょう

M E M O

M E M O

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

執筆者一覧

五十嵐 亮太	稲光 毅	大村 隼也
岡畠 祥憲	岡松 由紀	越智 悠一
賀来 典之	加野 善平	神菌 淳司
嘉村 拓朗	河野 剛	小林 匡
島 さほ	多久 佳祐	チョン ピンフィ
鉄原 健一	西山 和孝	東 加奈子
福島 幸奈	福政 宏司	古野 憲司
松岡 若利	松永 遼	森田 啓督
諸岡 雄也	横倉 義典	横地 賢興
芳野 三和		

(順不同、敬称略)

福岡県小児救急医療電話相談

夜中に子どもが発熱！病院に行ったほうが良いかなあ…

そんなときはプッシュ回線電話(携帯電話も可)より

8 0 0 0

看護師が電話でアドバイスします。



【相談時間】	7時	12時	19時	0時	翌朝7時
平日 19:00～翌朝 7:00					
土曜 12:00～翌朝 7:00					
日祝 7:00～翌朝 7:00					

…電話相談受付時間



子どもの急な病気に困ったら、まず☎！

小児救急電話相談

8 0 0 0

救急にかかると前に！

お子さんが急な病気の時に役立ちます

ONLINE

こどもの救急

<http://kodomo-qq.jp/>



厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)により作成

必携！子ども救急

子どもの急病・傷害（事故）対応マニュアル

発行日 2024年3月 改訂

発行 福岡県（保健医療介護部医療指導課）／公益社団法人福岡県医師会

監修 福岡市立こども病院

総合診療科長 古野 憲司

※この冊子の内容については、ふくおか医療情報ネット（<https://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>）でもご覧いただけます。

※本冊子に対するご意見・ご感想をお待ちしております。

福岡県保健医療介護部医療指導課（c-iryu@pref.fukuoka.lg.jp）まで、メールにてご意見・ご感想をお寄せください。